



「ふるさと潮見」を誇りに思えるように

先日、創立150周年記念行事を参観日に合わせて実施しました。大勢の保護者の皆様に参加いただき、感謝申し上げます。

この記念行事を実施するために、集会名や行事の内容などを子どもたちから募りました。また、記念のロゴマークや記念品のクリアファイルのデザインも募集しました。可能な限り子どもたちのアイデアを生かしながら、計画を進め、11月16日（土）に行ったのが「我が潮見小 未来につなごう集会 ～150周年の歴史とともに～」というわけです。

オープニングでは、水軍太鼓部や金管バンド部が勢いをつけました。正に、少数精鋭、見事な演奏でした。次に、JRC委員会による150年の歴史の紹介。昔の学校の様子を分かりやすく紹介しました。そして、ロゴマークやクリアファイルのデザインの紹介では、発案した子どもたちの「学校愛」にあふれる思いが伝えられました。



さらに、運営委員会による150周年のクイズでは、学校の歴史に関する問題が10問出され、大いに盛り上げました。子どもたちは、潮見小

学校の歴史の深さに改めて感心していました。最後は、元気よく全校で校歌を歌いました。

運動場で行ったバルーンリリースも、子どもたちは思い出に残ったようです。600個の風船が舞い上がり、それが点になるまで、子どもたちはじっと眺めていました。150周年の歴史とともに今後の未来につなげていこうとする思いが感じられました。

150周年行事とは異なりますが、11月14日（木）には、松山市小学校連合音楽会が行われ、潮見小学校は6年生が参加しました。そこで披露したのは、リコーダー奏の「ふるさと（昔から歌われている唱歌の『故郷（ふるさと）』）と合唱の「ふるさと（アイドルグループの嵐の楽曲でNHKの合唱コンクールの歌にもなったもの）」です。リコーダーの音と自分の声だけが頼りなので、シンプルですがだましがきかないという点で、難しかったかもしれません。それでも、6年生は見事に発表を終えることができました。これらの曲の中には「ふるさと」を思う気持ちが込められています。正に「ふるさと潮見」につながるものです。

生活科や総合的な学習の時間を中心に、「ふるさと潮見」を誇りに思えるような取組をしています。今回のような150周年記念行事や連合音楽会などの行事においても、子どもたちが潮見小学校に愛着をもち、潮見地区をより好きになるように努めていきたいと思っております。

